Viewla 視聴アプリケーション Windows 版

CamView

取扱説明書

保存版

目次

CamView について

CamView はViewla 製品を視聴、管理するためのWindows パソコン用アプリケーションソフトです。Viewla 製品に付属のCD より、無料でインストールできます。また、ソリッドカメラのホームページから最新バージョンをダウンロードすることができます。

CamView があれば、簡単にカメラ映像を見ることができ、また、カメラの画質や録画などの詳細な設定も行うことができます。

パスワードについて

Viewla には２種類のパスワードが用意されています。

※ どちらもWeb 設定で変更することが可能です。定期的な変更をお奨めします。

カメラ接続用パスワード

付属のカードに記載されているカメラ接続用のID とパスワードです。

カメラの映像を見る際に入力します。

カメラ設定用パスワード

カメラの画質や録画などの設定を変更する際に必要なパスワードです。

Web 設定へのログイン、CamView でのカメラ設定変更の際に入力します。

初期値は、ユーザー名：Admin、パスワード：なし（=空白）です。

動作環境

コンピュータ	Pentium4 1.5GHz 以上
OS	Windows XP/ VISTA / 7
RAM メモリ	512MB 以上

※ 3台のカメラに同時に接続する場合の推奨スペックです。4台以上に同時接続する場合は、
さらに高いスペックが必要です。

とりあえず接続するには？

とにかくすぐに映像を見たい方は以下の手順を行ってください。

※ カメラの映像を見るだけなら、これだけでOK です。

① Viewla を接続します。

② PC にCamView をインストールします。

③ PC がViewla と同じネットワーク内（LAN）にあるとき

→ オートサーチにカメラID が自動的に表示されます。

ID をダブルクリックしてパスワードを入力すれば接続できます。

遠隔操作でカメラ映像をみるとき

→ 画面左上の「カメラリスト」を右クリックして「新しいカメラ」を選択し、

分かりやすい名前と、ID・パスワードを入力します。

その後、リストに追加されたカメラ名をダブルクリックすれば接続できます。

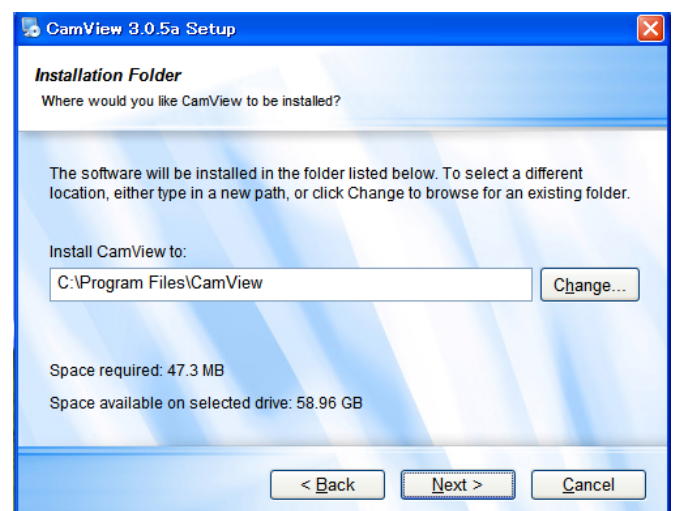
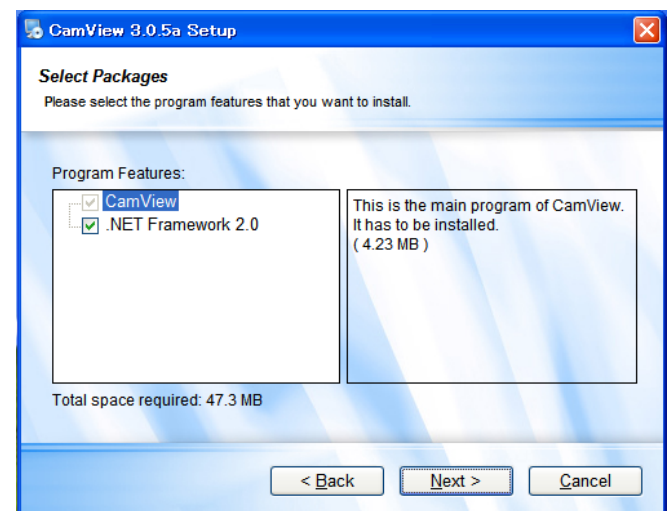
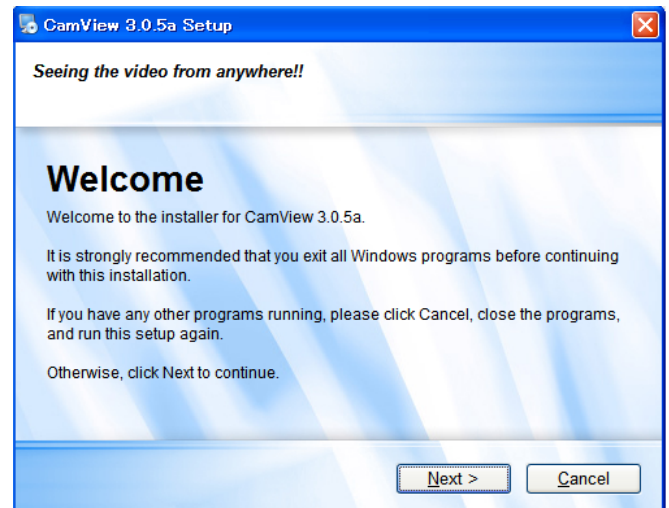
※ 次ページ以降で各項目を詳しく解説します。

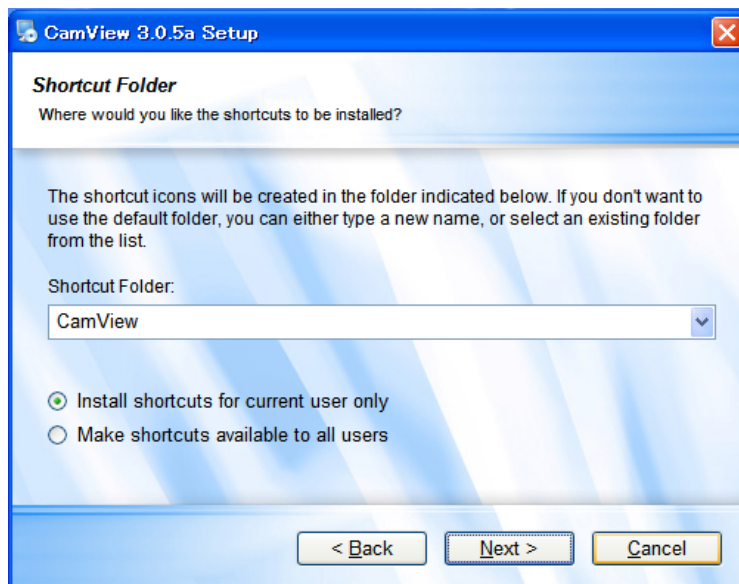
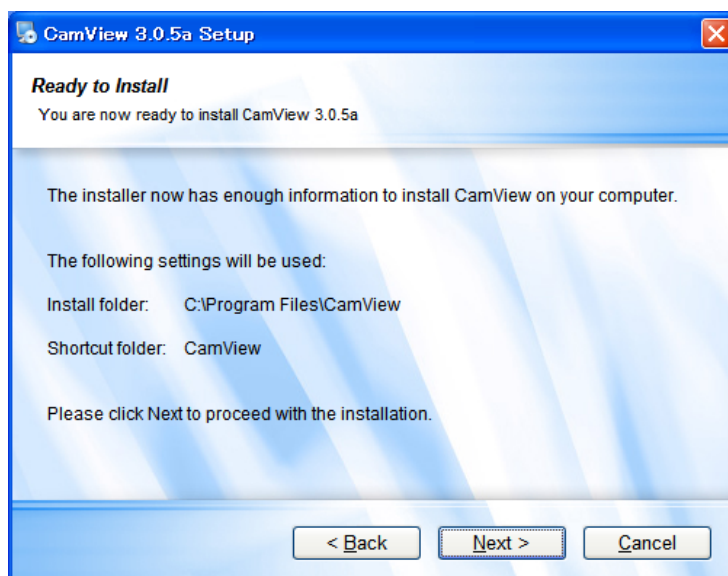
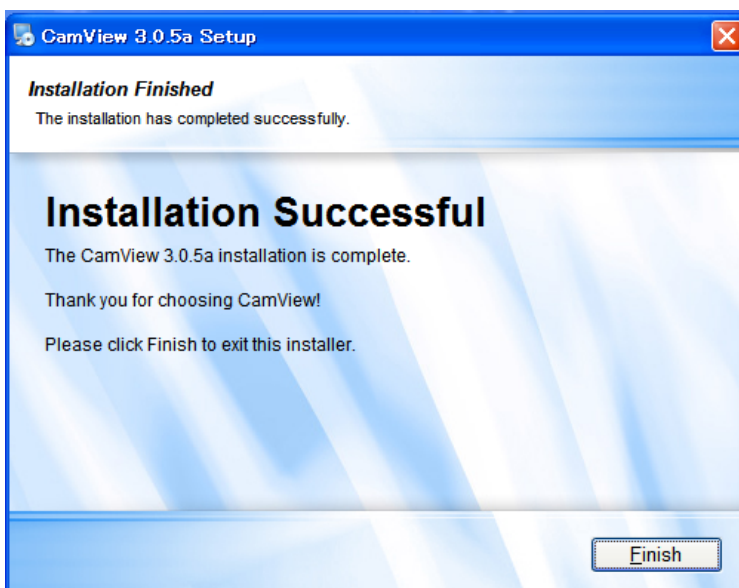
CamView のインストール

Step 1. 実行する前に、他のプログラムを閉じてください。

Step 2. インストール CD を挿入し、マイコンピュータ → CD ドライブの "CamViewInstaller.exe"をダブルクリックしてください。右図の "Welcome" ウィンドウが開きます。[NEXT]をクリックしてください。
※最新版の"CamView"は http://www.solidcamera.net/download.html よりダウンロードできます。

Step 3. CamViewniha "NET Framework" が必要です。"NET Framework" がすでにインストールされている場合はチェックを外してください。
※よく分らないときは、そのまま[NEXT]をクリックしてください。

Step 4. CamView をインストールするフォルダを選びます。変更しない場合はそのまま[NEXT]をクリックしてください。

Step 5. ショートカットをインストールしたいフォルダ（※）を選びます。また、ショートカットを利用可能なユーザーを選びます。変更しないで良い場合はそのまま[NEXT]をクリックしてください。

※"すべてのプログラム"に反映されます。

Step 6. インストールの準備ができました。[NEXT]をクリックして、インストールを開始してください。

Step 7. 右の図が表示されれば、インストール完了です。[NEXT]をクリックして、終了してください。

CamView の起動

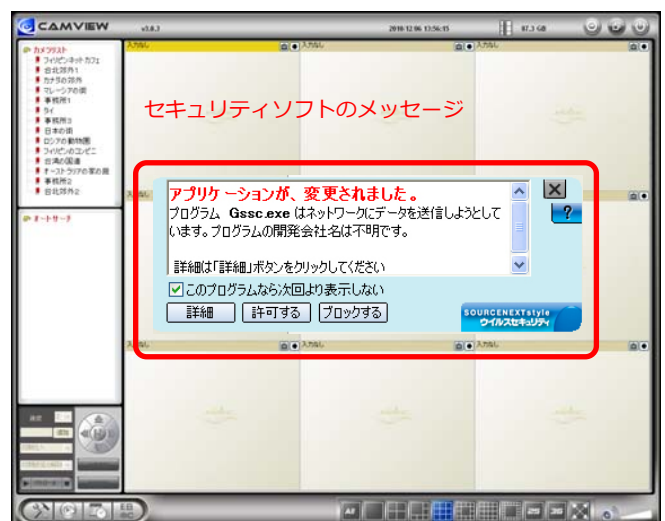
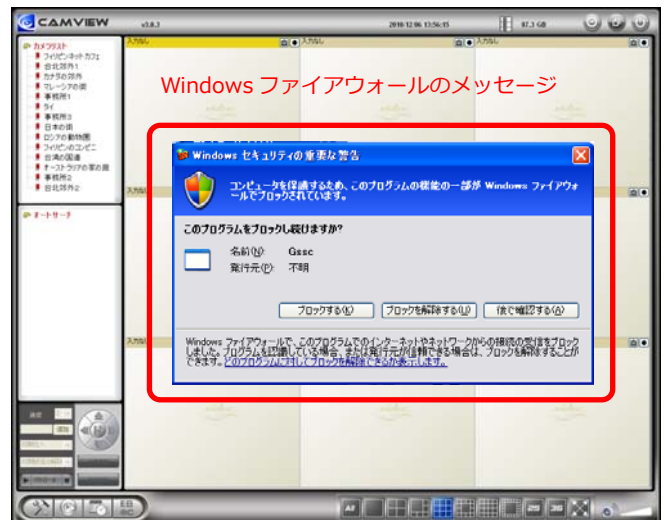
インストール後、デスクトップに CamView のアイコンが作成されます。

アイコンをダブルクリックすると CamView が起動します。

ファイアウォールの解除

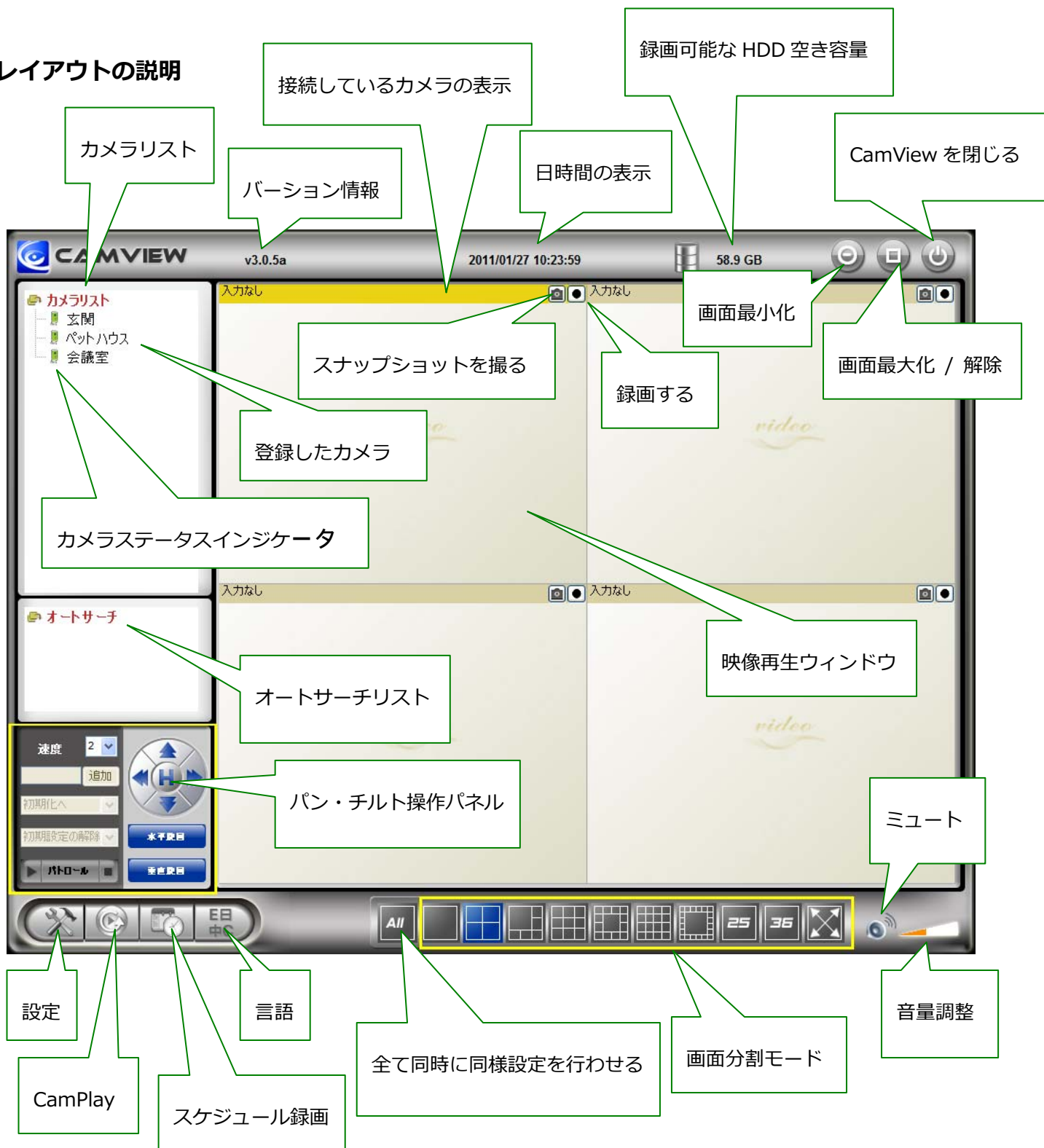
お使いのパソコンでセキュリティソフトが有効になっている場合、初めて CamView を起動する際と、初めてカメラへ接続する際に、右の図のようなメッセージが表示されます。

これは CamView が利用している”GSSc.exe” というプログラムが認証通信を始めようとしているためです。問題はありませんので、“許可”や”解除”を選んで、通信を許可してください。

↓メッセージは、初回起動時と初回接続時の２回

※　お使いのセキュリティソフトによって表示内容は異なります。

CamView のレイアウトの説明

レイアウトの説明

カメラリスト
バージョン情報
接続しているカメラの表示
日時間の表示
録画可能な HDD 空き容量
CamView を閉じる
画面最小化
スナップショットを撮る
録画する
画面最大化 / 解除
登録したカメラ
カメラステータスインジケータ
映像再生ウィンドウ
オートサーチリスト
パン・チルト操作パネル
ミュート
設定
言語
全て同時に同様設定を行わせる
画面分割モード
音量調整
CamPlay
スケジュール録画

画面分割モード

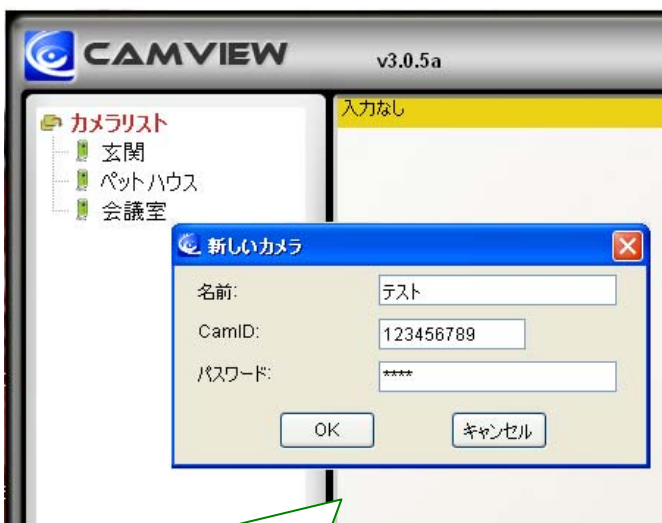
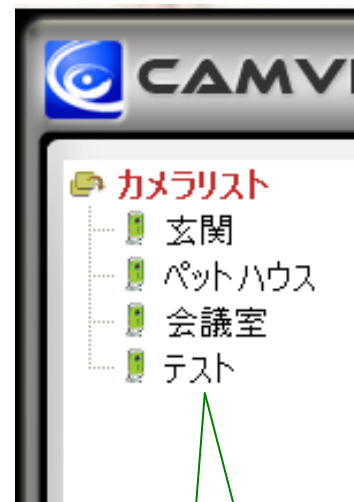
下の図のボタンをクリックして、画面を 36 分割まで切り替えることができます。

CamView におけるカメラの管理

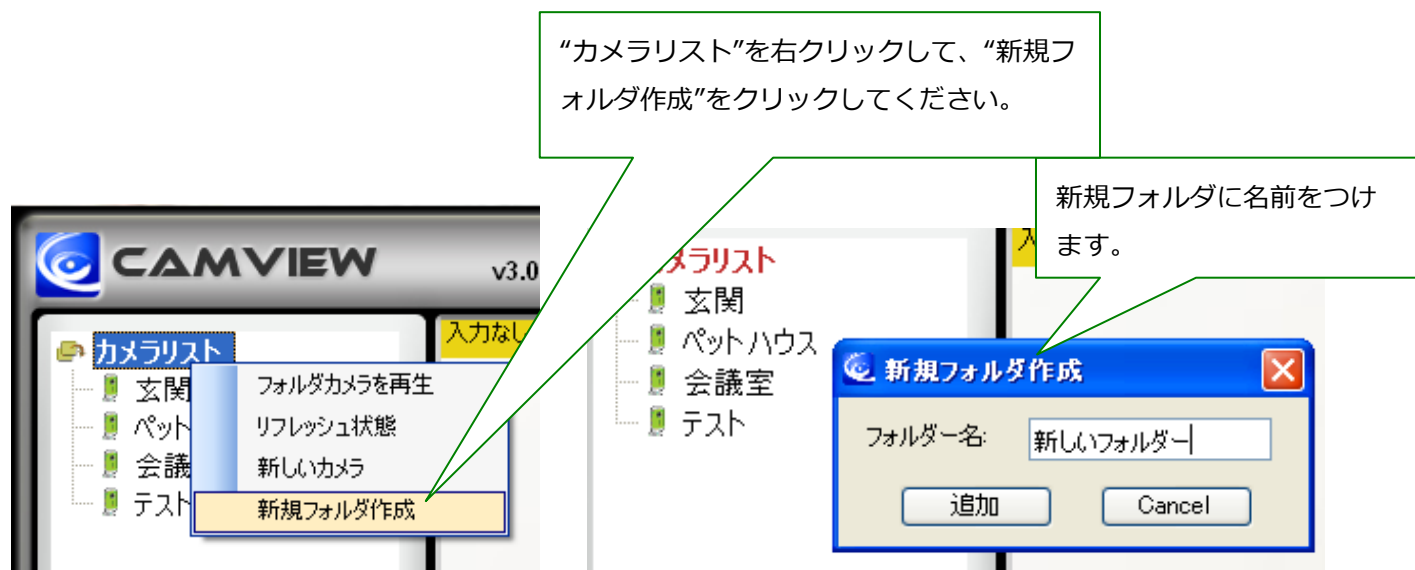
“カメラリスト”を右クリックすると、新しいカメラの登録、新規フォルダの作成などのカメラ管理ができます。

新しいカメラの登録

カメラ ID とパスワードを入力してリスト登録します。カメラに名前もつけられます。

⇒

カメラ名、ID やパスワードを入力後、“OK”をクリックします。

“テスト”というカメラが追加されました。

新規フォルダ作成

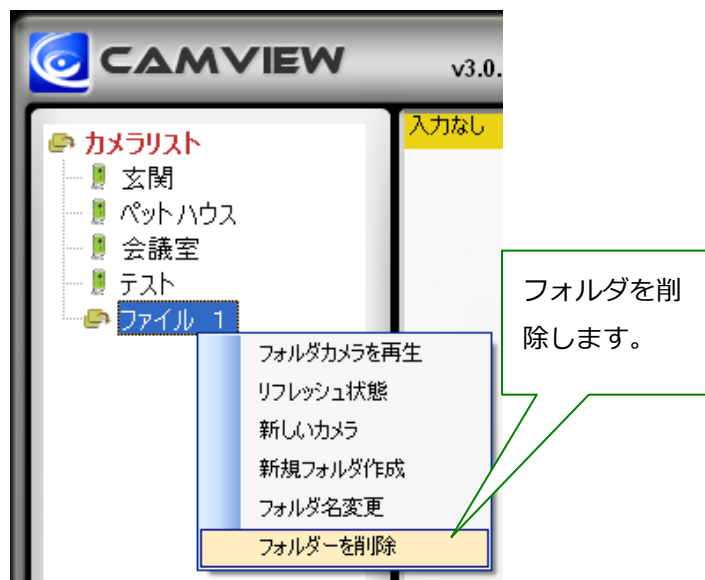
新規フォルダ作成によって、カメラをグループ化することができます。

フォルダ名の変更

フォルダの名前を変更することができます。"カメラリスト"に表示されているフォルダを右クリックし、"フォルダ名変更"を選択してください。

フォルダの削除

フォルダの削除ができます。

削除したいフォルダを右クリックし、

“フォルダを削除”を選択してください。

リフレッシュ状態

“カメラリスト”、または、フォルダを右クリックして、”リフレッシュ状態”をクリックすれば、

カメラの接続状態を更新できます。

カメラの設定

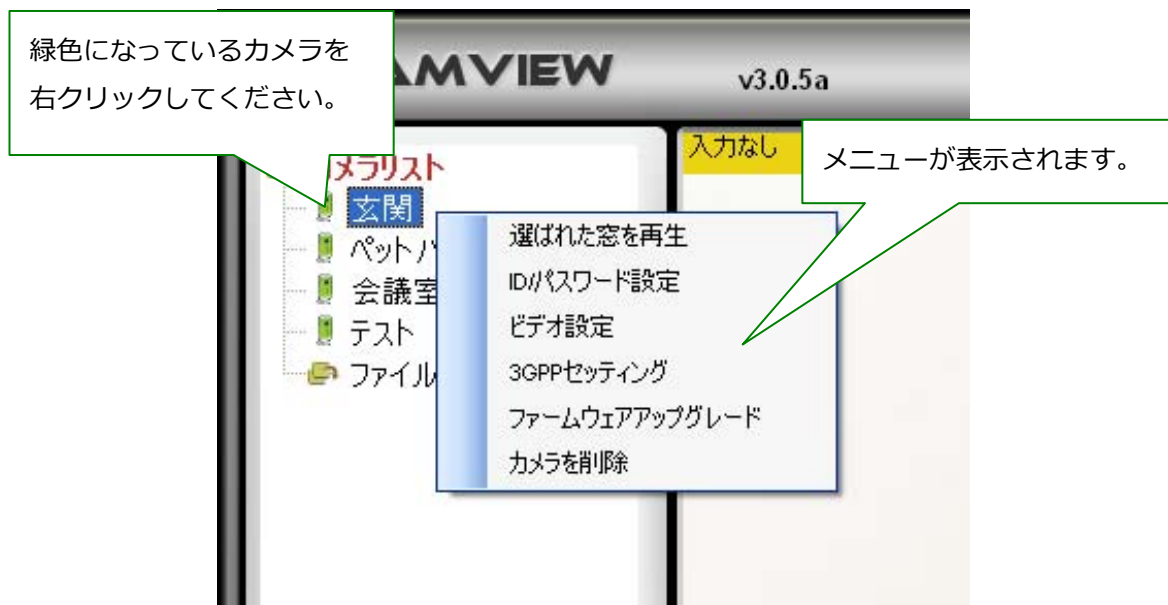
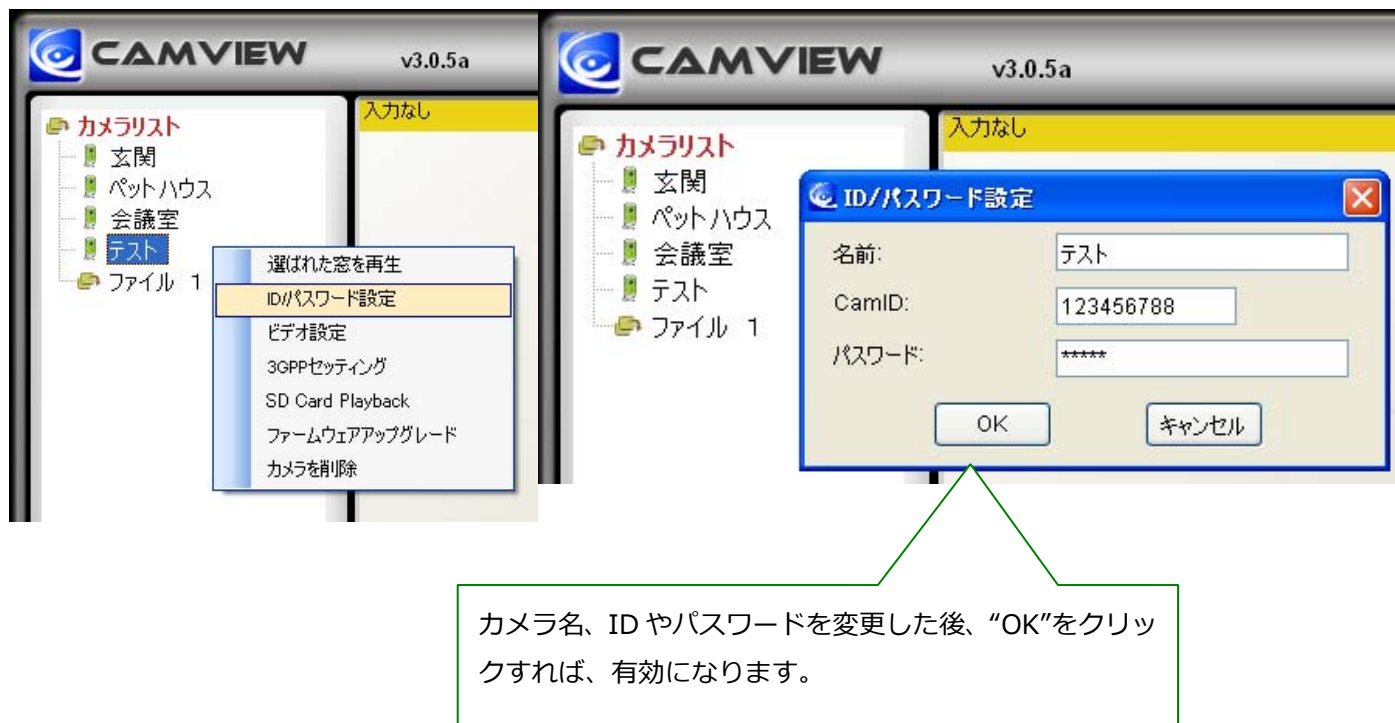
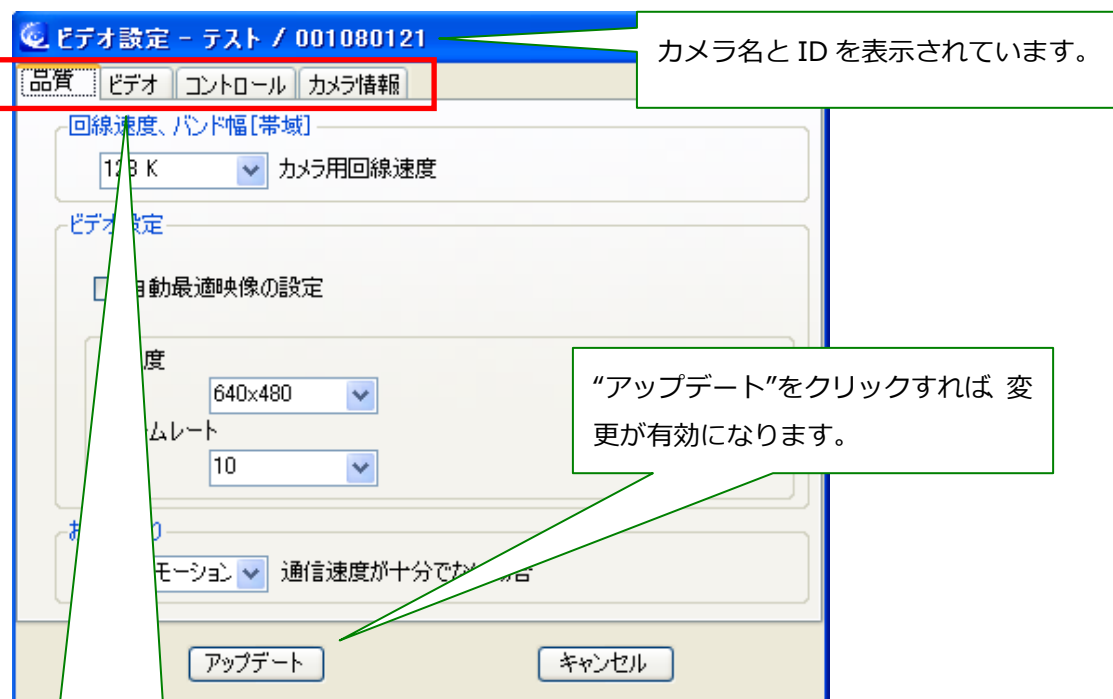
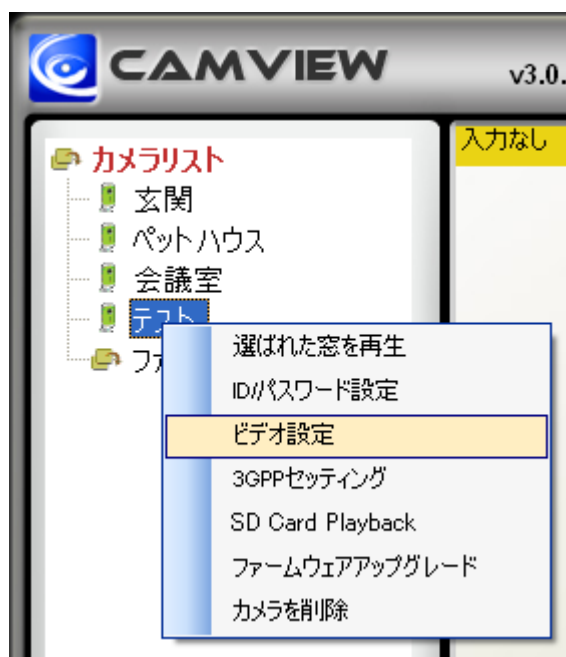
“カメラリスト”に表示されているカメラを右クリックすれば、メニューが表示されます。メニューから、そのカメラの映像を再生すること、カメラ ID とパスワードの設定やカメラの削除などが行えます。

※カメラのステータスインジケーターが緑色になったときのみ設定できます。

選ばれた窓を再生

ID/パスワード設定

ビデオ設定

CAMVIEW
v3.0.
入力なし
カメラリスト
玄関
ペットハウス
会議室
テスト
選ばれた窓を再生
ID/パスワード設定
ビデオ設定
3GPPセッティング
SD Card Playback
ファームウェアアップグレード
カメラを削除

ビデオ設定 - テスト / 001080121
カメラ名と ID を表示されています。
品質
ビデオ
コントロール
カメラ情報
回線速度、バンド幅[帯域]
カメラ用回線速度
自動最適映像の設定
640x480
10
"アップデート"をクリックすれば 変更が有効になります。
通信速度が十分で
アップデート
キャンセル
ビデオ設定はそれぞれの機能による分けています。

品質設定

・回線速度、バンド幅[帯域]

64K～1.5M の選択があります。カメラが設置されている現地のインターネット回線（上り）速度に合わせてください。対域幅が高いほど、映像の品質が良くなります。

・ビデオ設定

“自動最適映像の設定”にチェックを入れると、解像度とフレームレートが自動的に調整されます。

・ 解像度

高いほど、映像が大きくなります。

・ フレームレート（1 秒で表示するコマ数）

高いほど、映像の動き（モーション）がよりスムーズになります。

・お気に入り

通信速度が十分でない場合に画質を優先するか、動きを優先するかを選択できます。

ビデオ

・ビデオカラー
カラーの映像か、白黒の映像かを選択できます。

・輝度
映像の明るさを 1（暗い）から 10（明るい）までコントロールできます。

・シャープネス
画像の鮮明さを 1（荒い）から 10（鮮明）までコントロールできます。

・高感度
暗い場所での感度を設定します。

・場所
カメラの設置場所に合わせた設定を選びます。

・OSD
On Screen Display（スクリーンの情報表示）を有効にするか、無効にするかを選択できます。
有効にすると、映像に時間が表示されます。

・マイク
カメラのマイクを有効にするか、無効にするかを設定できます。

・ビデオフリップ
カメラを逆さに設置したときに、映像をひっくり返す設定です。

コントロール

・ パン・チルト制御を許可

ボックスにチェックを入れると、LAN 外のユーザーもリモートでパン・チルトの操作が行えるようになります。

・LED の状況

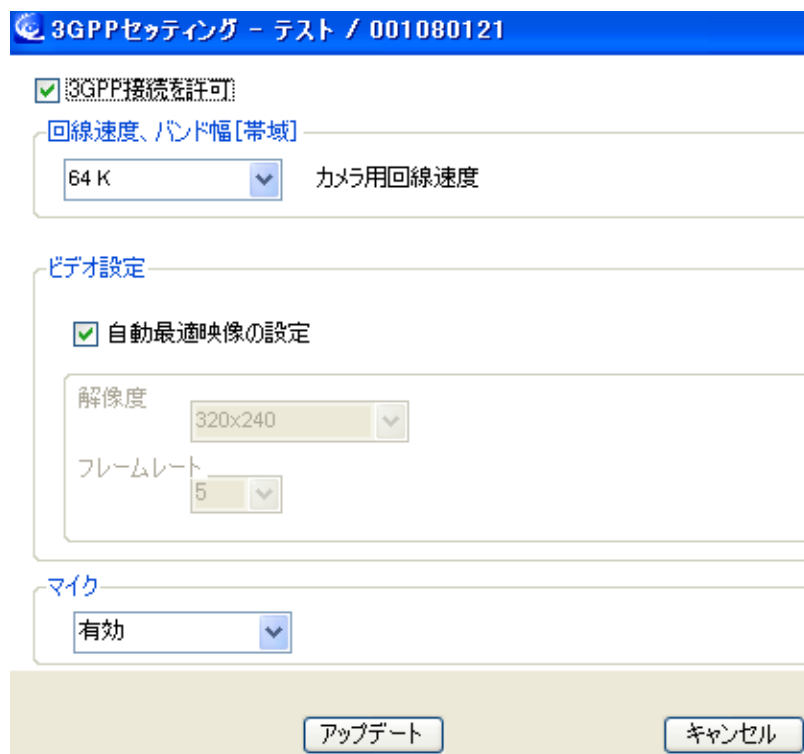
カメラ本体の LED の点灯のしかたをコントロールできます。

・モーション感度

動体検知の感度がコントロールできます。

カメラ情報

カメラ情報やファームウエアのバージョン情報を表示されます。

3GPP の設定

・3GPP 接続を許：3G 回線での接続を有効にするには、チェックを入れます。

・対域幅：32K から 256K までの対域幅レベルが選択できます。

・自動最適映像の設定：最適の解像度とフレームレートが自動的に選択されます。

・マイク：G 回線を利用した端末での音声の有効・無効を選びます。

カメラの削除

再生している映像のコントロール

右クリックメニュー

映像を右クリックすると以下のメニューが表示されます。

フルウィンドウ

選択した再生窓で表示されているカメラ映像をデスクトップ画面サイズに拡大して表示します。

自動再接続

選択した再生窓で再生中のカメラへ自動的に再接続します。

停止

選択した再生窓で再生中のカメラ映像を停止します。

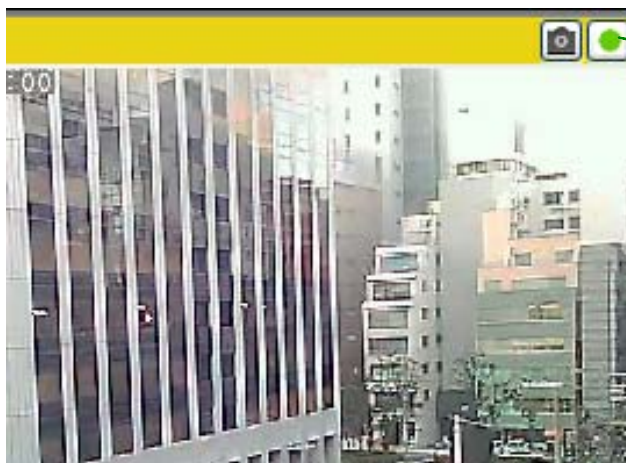
一時停止

選択した再生窓で再生中のカメラ映像を一時停止します。

映像比を保つ

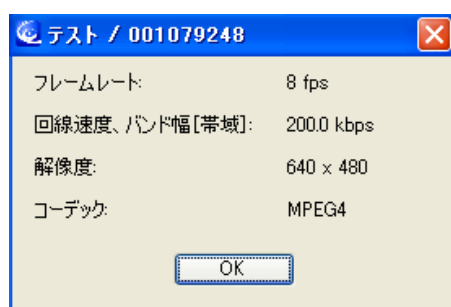
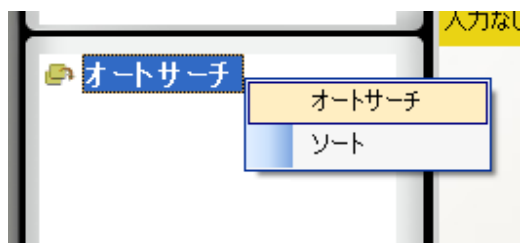
選択した再生窓で再生中のカメラ映像の縦横比率を一定に保ちます。

モーション録画

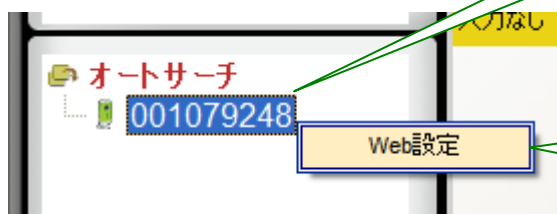
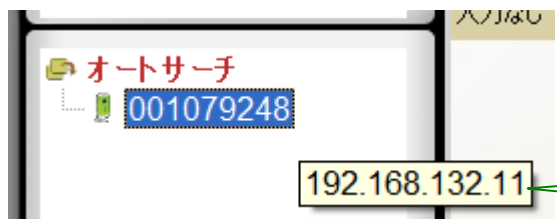
動体を検知したときに録画を行います。

D/I カウンター

カメラに接続したデジタル機器の入力信号によって、録画をコントロールします。

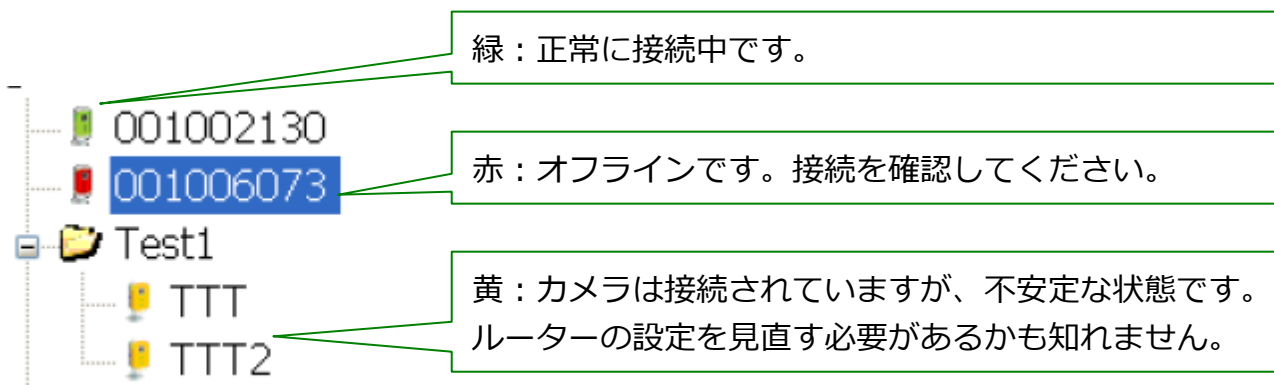
プロパティ

カメラの接続状態の詳細が確認出来ます。

スナップショットと録画

オートサーチ

オートサーチとは、パソコンと同じ LAN 内にある IP カメラを自動的に検知する機能です。

オートサーチ：LAN 内のカメラ ID のリストが表示されます。

WEB 設定：クリックすると、インターネット・エクスポローラーが開きます。詳しいカメラの設定はここから設定できます。デフォルトのユーザー名は”admin”で、パスワードは空欄のままです。

マウスのポインターをカメラ ID に置くと、そのカメラの IP アドレスが表示されます。

カメラアイコン

カメラアイコンの色によって接続状態を知ることができます。

※表示が緑でも、ファイアーウォールなどの設定によっては、接続できない場合もあります。

パン・チルトコントローラー

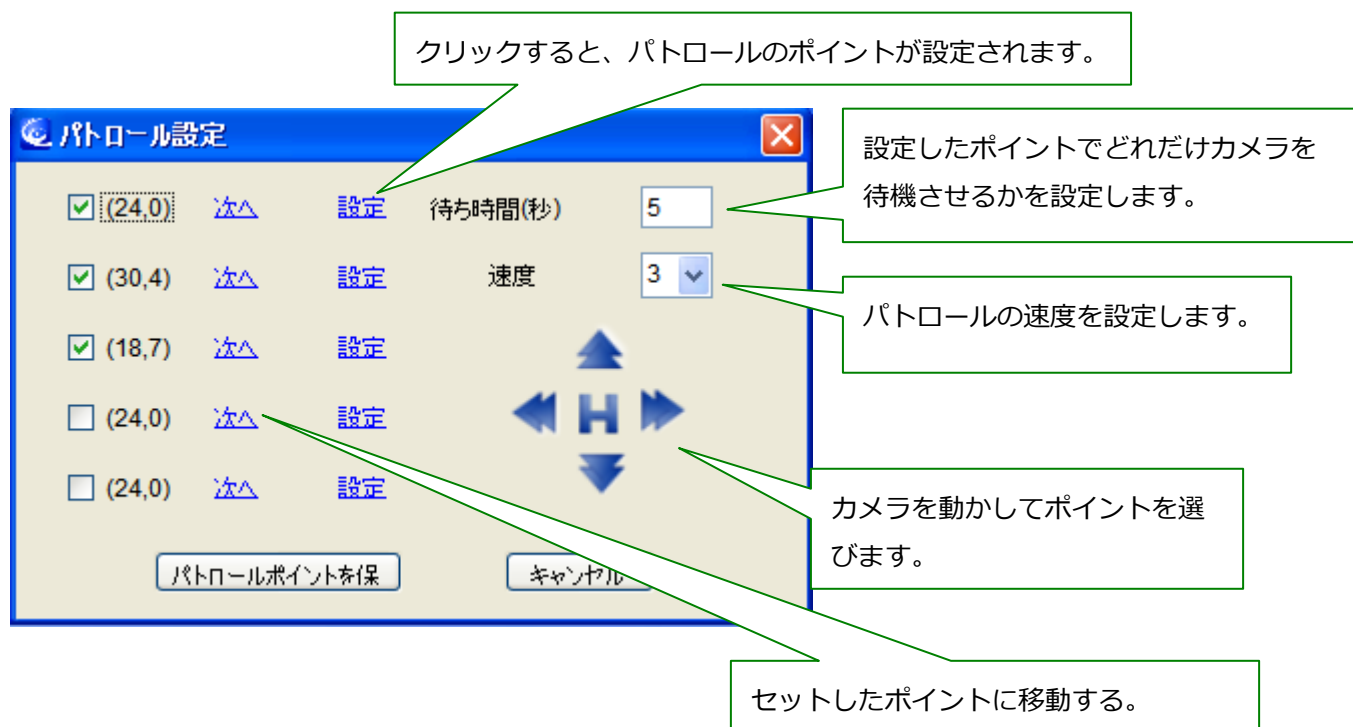
パン・チルトが有効なカメラへ接続すると、パン・チルトコントローラーからカメラを上下左右に操作することができます。

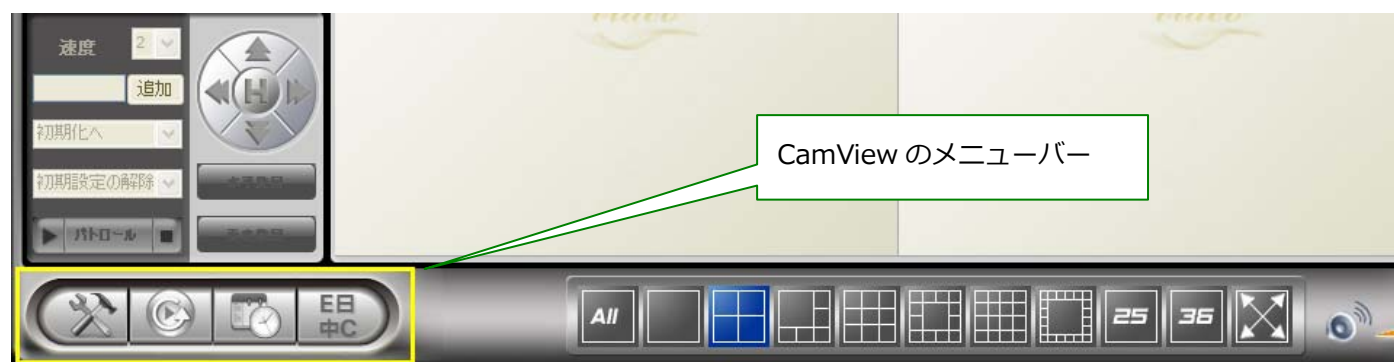
水平旋回：カメラを左右旋回します。

垂直旋回：カメラを左右に振ります。

速度：ワンクリックで動く幅を決めます。

パトロール：画面上の最大 5 つのポイントを自動的に巡回させることができます。

各項目を設定し、”パトロールポイントを保存”をクリックします。

ズームイン・アウト：Viewla IPC-00 でアナログカメラのズームを制御する際に表示されます。

CamView メニュー

設定メニュー

設定ボタンをクリックすると、CamView の基本設定を行えます。

ディレクトリ

録画・スナップショットの保存先を指定します。

設定
ディレクトリ
スタートアップオプション
ファームウェアアップグレード
固定IPアクセス
ディレクトリ設定
録画
フォルダーに録画ファイルを保存:
C:¥Program Files¥CamView¥Recordin
開く
変更...
録画容量が残り少ない場合 0 GB (使用可能: 58.9 GB)
循環録画
録画停止
スナップショット
フォルダーにスナップ写真を保存:
C:¥Program Files¥CamView¥Snapshot
開く
変更...
OK
キャンセル

録画映像を保存するフォルダ

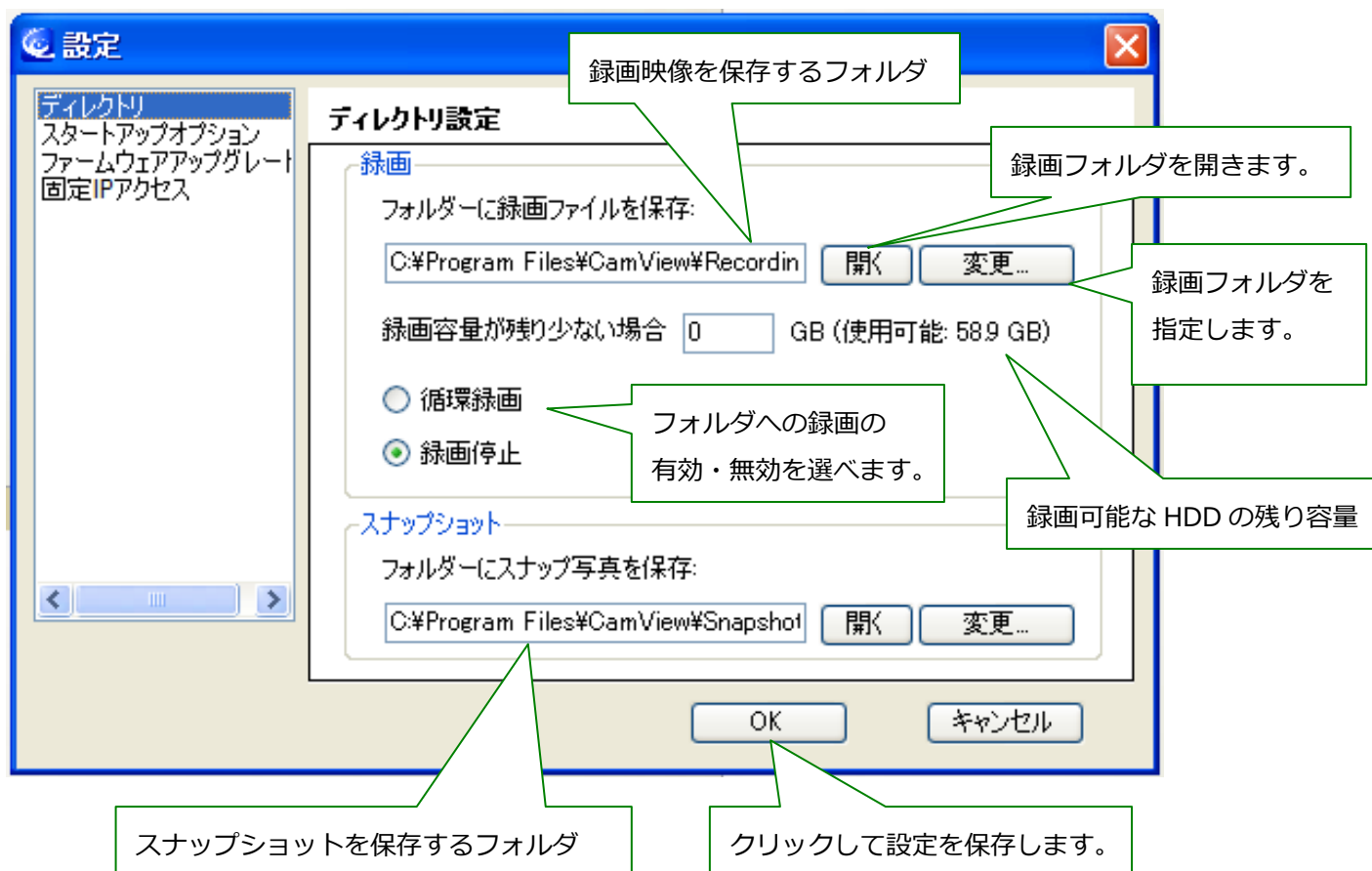
録画フォルダを開きます。

録画フォルダを指定します。

フォルダへの録画の有効・無効を選べます。

録画可能な HDD の残り容量

スナップショットを保存するフォルダ

クリックして設定を保存します。

スタートアップオプション

自動スタートアップ：Windows 起動時に CamView を自動で起動します。

最後の再生をリストア：CamView 起動時に前回再生していた映像を表示します。

CamPlay

再生ソフト"CamView"を起動します。

スケジュール（予約）

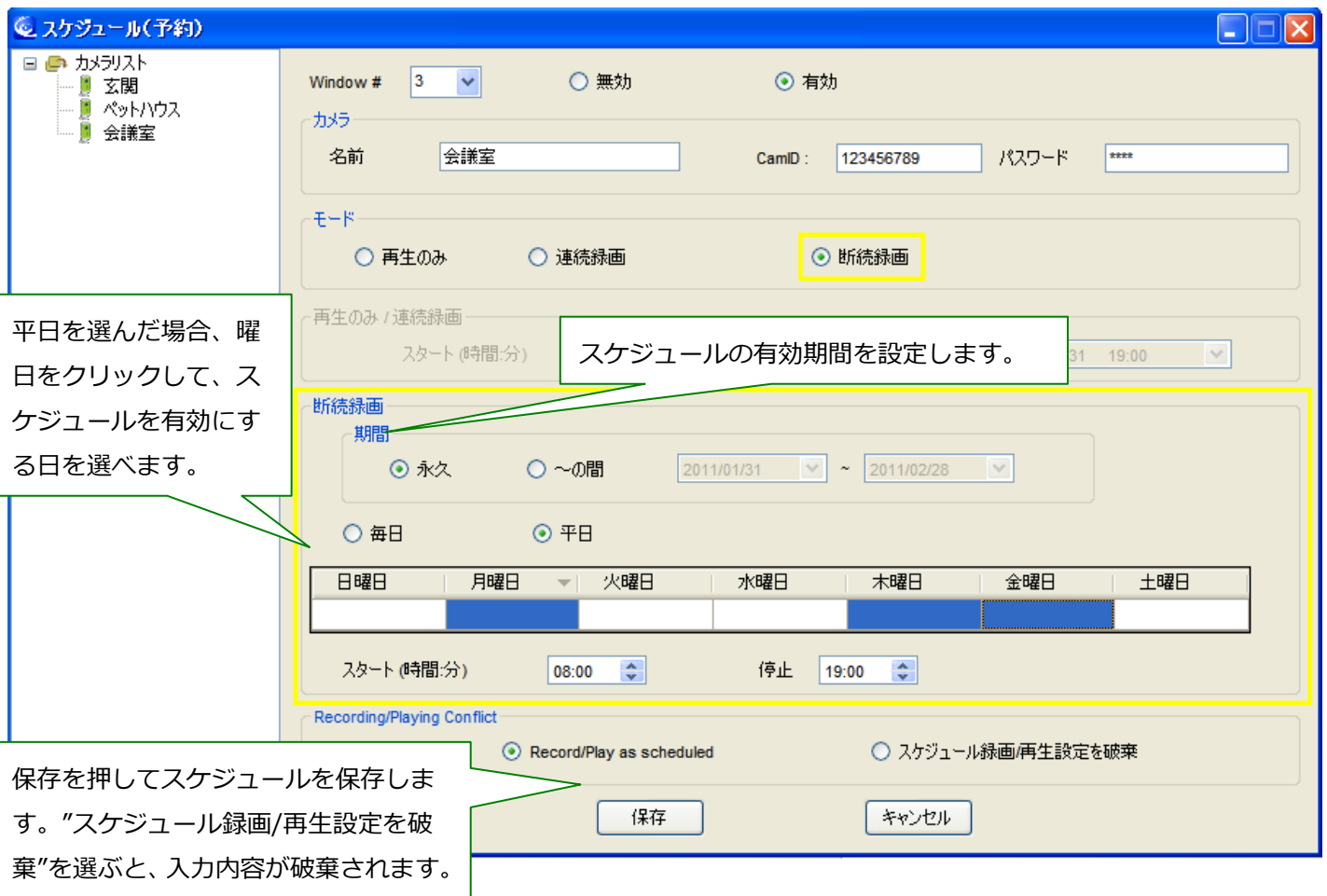
パソコンのハードディスクへカメラ映像を録画する際のスケジュール予約を設定します。

下記の 3 パターンからスケジュール録画予約が出来ます。

再生のみ

再生するスタート時間と終了時間を設定し、指定された時間にカメラ映像を再生します。

連続録画

録画するスタート時間と終了時間を設定し、指定通りにカメラ映像を録画します。

断続録画

録画する期間と曜日、スタート時間と終了時間を設定し、指定通りにカメラ映像を録画します。

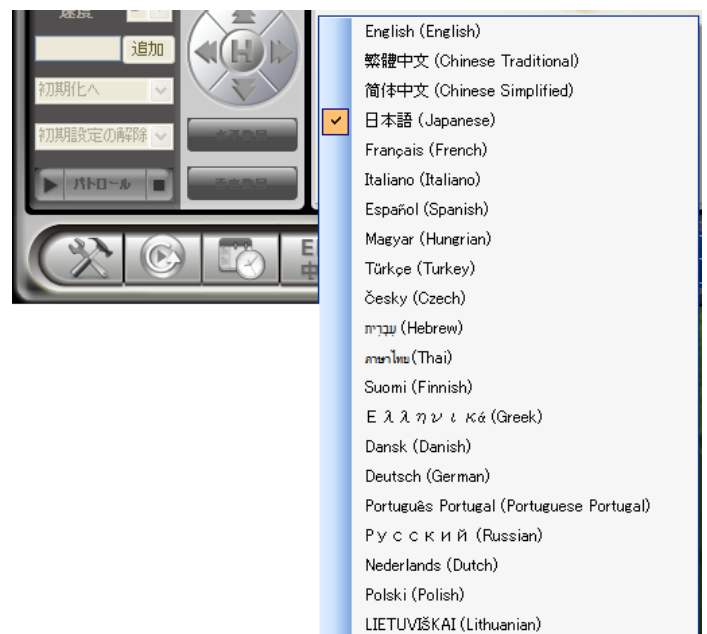
スケジュール(予約)

平日を選んだ場合、曜日をクリックして、スケジュールを有効にする日を選べます。

スケジュールの有効期間を設定します。

保存を押してスケジュールを保存します。"スケジュール録画/再生設定を破棄"を選ぶと、入力内容が破棄されます。

言語メニュー

クリックすると、対応している言語が表示されます。"日本語（Japanese）"を選択すれば、メニューが日本語で表示されます。

一括操作メニュー

カメラリストに登録した全カメラの録画・スナップショットなどを同時に行ないます。

全てを録画

再生窓に再生されている全カメラ映像を同時に録画します。

全てをスナップショット

再生窓に再生されている全カメラ映像を同時にスナップショットします。

全てを再生

カメラリストにある全カメラを同時に再生します。

全てを一時停止

再生窓に再生されているカメラリストにある全カメラを同時に一時停止します。

すべて切断

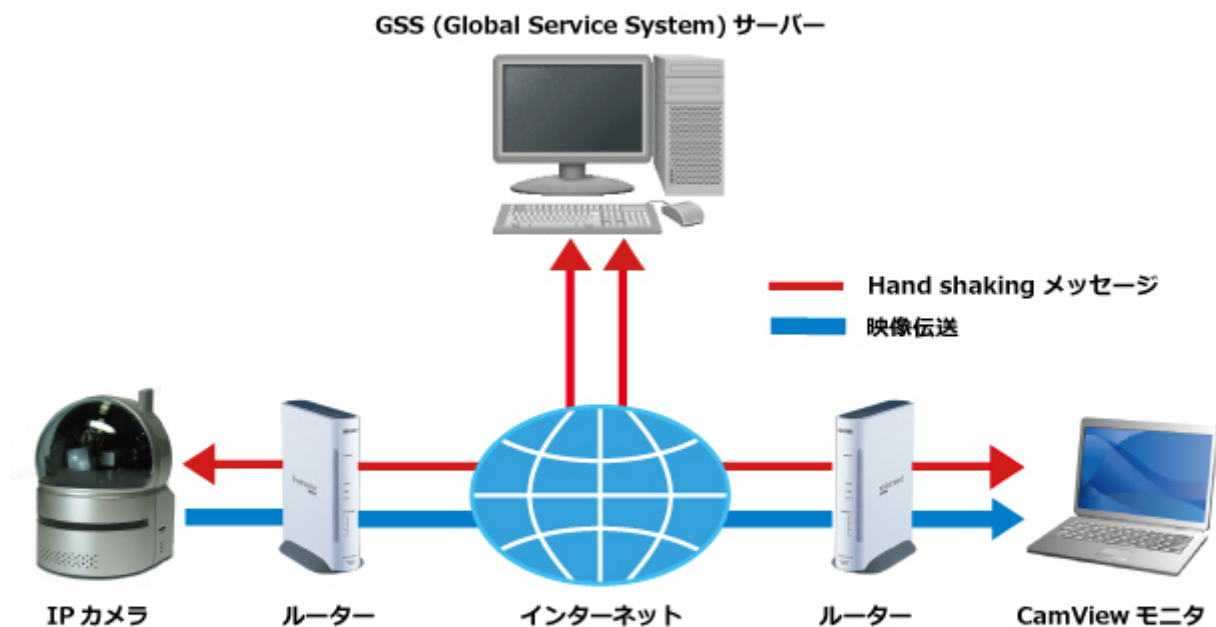
再生窓に再生されている全カメラを同時に切断します。

すべての接続情報をクリアする

再生窓に再生されているカメラリストにある全カメラの接続情報をクリアします。

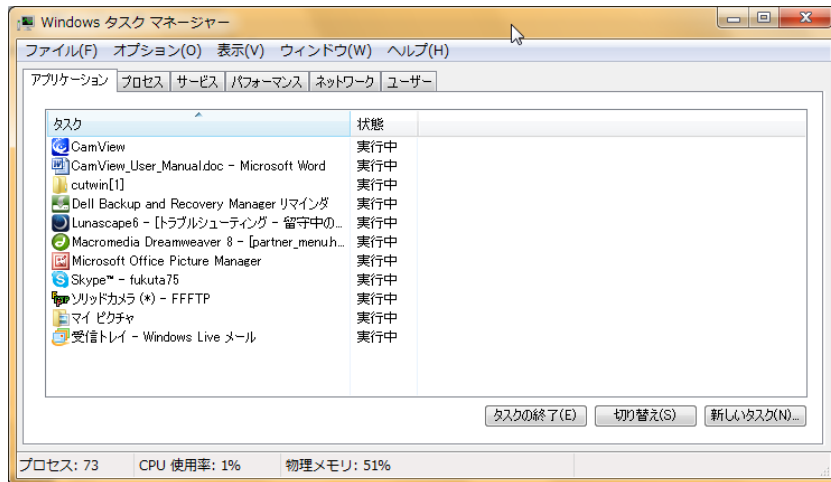
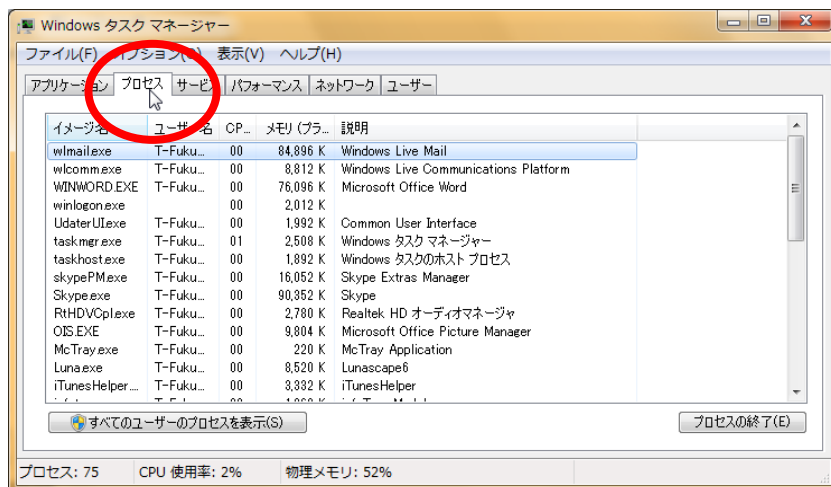
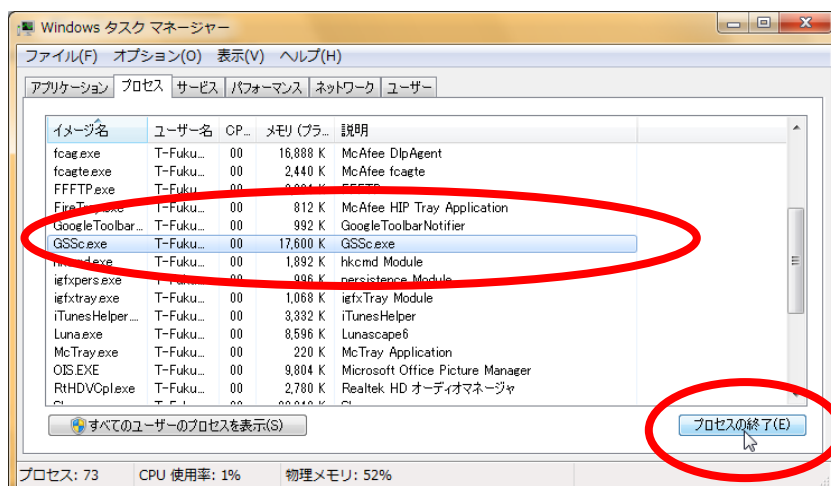
補遺

通信の安全性について

Viewla の GSS(Global Service System)サーバーは、世界で 3 箇所(日本、米国、台湾)に各 2 台ずつ計 6 台の IBM Ssytem X3550 で構築しています。例えば台湾のサーバーは eASPNet にありますが、ここは業界に先駆けて ICSA Security 認証をとっており、セキュリティレベルは 99.999%の水準です。GSS は、他社の IP カメラでよく使われている DDNS サーバーよりも遥かに安全です。また、GSS サーバーと IP カメラ間の制御メッセージは全て暗号化されており、認証は端末と端末、即ち IP カメラと CamView との間で行われます。アカウント情報は IP カメラ本体のみにあり、サーバーには一切保管さていないため、サーバーからの情報漏洩は絶対にありません。

インストールできないときの対処

初回起動時に GSSc.exe をファイアウォールで許可しなかった場合、起動ができなくなり、ま

た、再インストールもできなくなることがあります。その場合は、まず CamView を閉じた後、

以下の手順で GSSc.exe を終了させて再実行してください。

キーボードの Ctrl キー、Alt キー、Delete キーを同時に押し、タスクマネージャーを起動してください。

次に"プロセス"タブをクリックします。

"GSSc.exe"を選択し、プロセスの終了を押します。

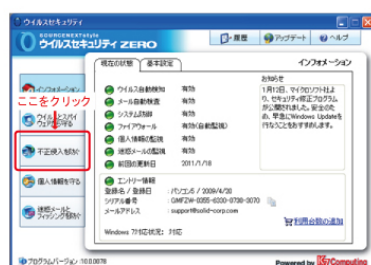
※ "イメージ名"をクリックすると、名前順で表示されます。

※ 複数ある場合は、全て停止してください。

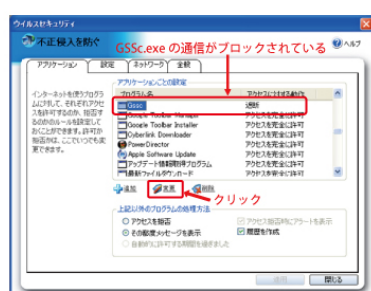
カメラに接続できないときの対処

初回接続をセキュリティソフトで許可しなかった場合、カメラ接続ができなくなります。

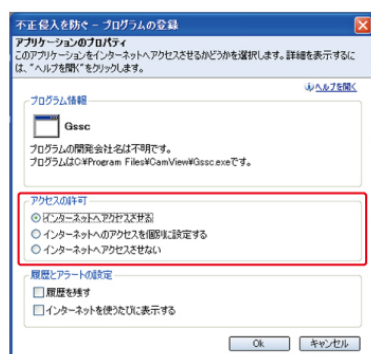
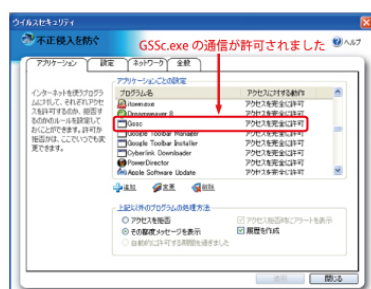
以下の手順を参考にセキュリティを解除してください。

ウィルスセキュリティソフトのファイアーウォール設定でプログラムの通信許可設定を行ないます。
下記設定はウィルスセキュリティ ZERO の場合です。他社のセキュリティーソフトをご利用の場合は、そちらの手順に従って許可設定を行なって下さい。

ウィルスセキュリティーを起動します。
「不正侵入を防ぐ」のタブをクリックします。

※ GSSc.exe プログラムはカメラの接続 ID/ パスワードの認証プロセスで実行されるプログラムです。

ファイアウォールの設定を変更します。
［設定］ボタンをクリックします。

［アプリケーション］タブを選択後、左記に表示されるプログラムの中で GSSc.exe ファイルを探し、選択します。

GSSc.exe プログラムがファイアーウォールで通信を切断しているのが分かります。

［変更］ボタンをクリックし、プログラムのアクセス許可設定を変更します。

アクセス許可設定で「インターネットへアクセスさせる」を選択し、「OK」をクリックします。

GSSc.exe プログラムのアクセス動作が、「アクセスを完全に許可」になっていることを確認して下さい。
その後、CamView を再起動して下さい。

これで、カメラの接続 ID/ パスワードの認証が取れ、カメラ映像が見れるようになります。

お問い合わせについて

CamView に関するお問い合わせは下記にて対応しております。

お買い上げいただいた販売店

- 故障時の修理について

ソリッドカメラホームページ

- 最新版 CamView のダウンロード
- トラブル発生時の解決方法
- 技術的な不明点

http://www.solidcamera.net

お客様相談窓口

ソリッド株式会社

06-6228-0577

info@solidcamera.net

[対応時間] 9:00 ～ 17:30（土日祝除く）